



多

様

な生きものと

“あたりまえ”に暮らすまち

2017年度
生物多様性アクションプラン
進捗状況及び点検・評価

岐阜市自然環境保全推進委員会

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度－2025年度

アクションプラン
2017－2019

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度－2025年度

目 次

1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの対象期間	2
3. アクションプランの構成	
(1) アクションプランの構成図	3
(2) 基本方針	4
(3) 生物多様性を保全する取組	5
(4) 重点目標	7
4. アクションプランの管理方法	
(1) 管理体制	9
(2) 点検・評価作業の進め方	10
5. 総括表	11
6. 個別目標	15



達目洞

岐阜市の貴重野生動植物種であるヒメコウホネが自生する達目洞は、環境省により「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されています。

毎月、達目洞自然の会が作業を実施し、保全に取り組んでいます。



長良川から望む金華山

金華山は最高点標高 338m（三角点標高 329m）と登りやすい高さであり、さらに複数の登山道が整備されていることから、多くの市民に親しまれています。

金華山付近の長良川では、毎年、ぎふ長良川鶺鴒が開催されます。

1. アクションプランの目的

平成28年3月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下、「プラン」という。）では、目指すべき将来の岐阜市の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、その姿を実現するため、3つの基本方針に基づく8つの取組を推進することとしています。

「プラン」では、具体的な実施計画としてアクションプランを設定し、およそ3年ごとの数値目標を設定することとしています。

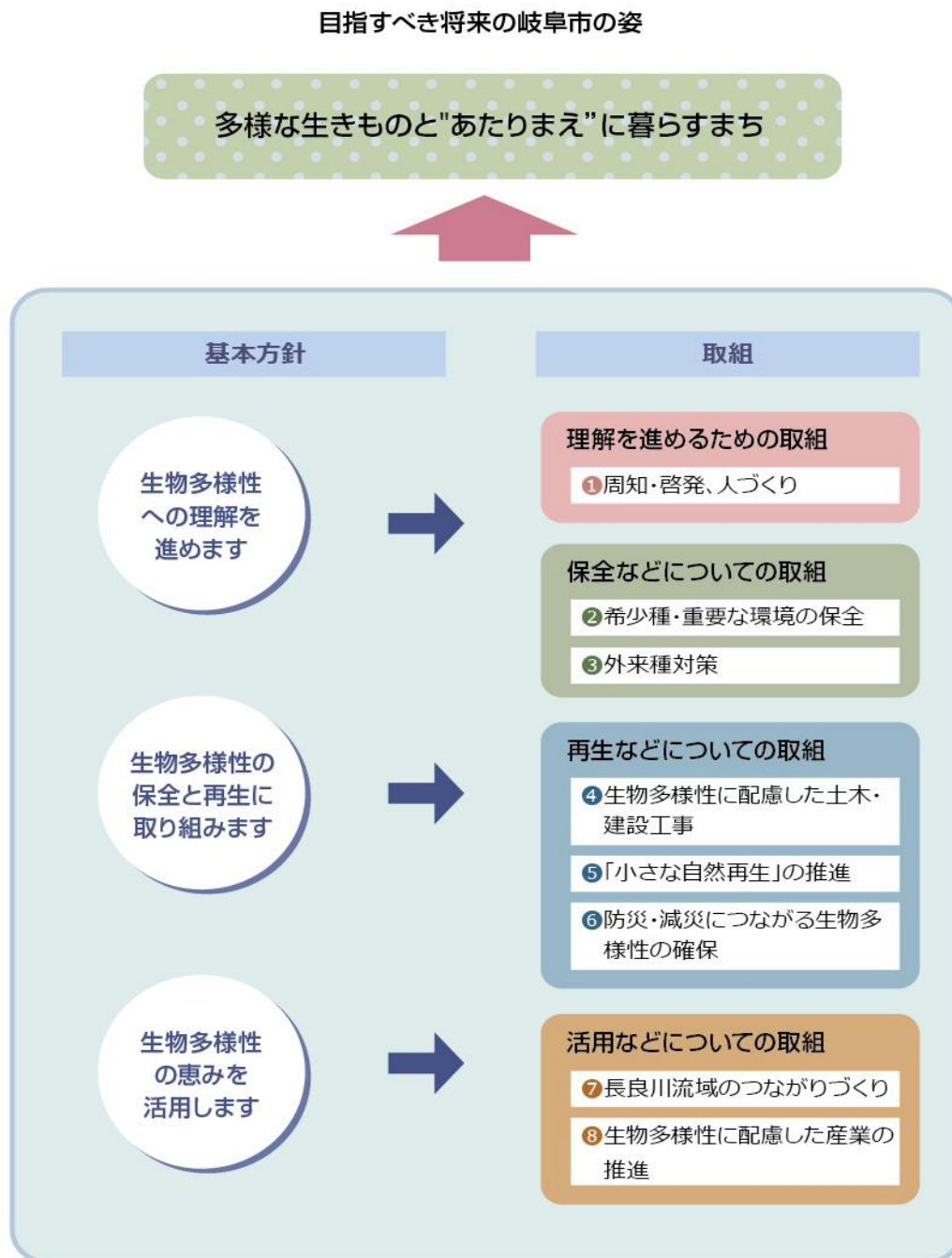


図1 岐阜市生物多様性プランの体系

2. アクションプランの対象期間

アクションプランは、「プラン」の取組の具体的な実施計画となるものです。「プラン」の計画期間は、2016（平成28）年度から2025（平成37）年度の10年間ですが、アクションプランについては3年ごとの期間とし、「プラン」の計画期間の間に3回にわたってアクションプランを改定します。

表1 アクションプランの対象期間

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		
	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37		
プラン	計 画 期 間											
アクションプラン	策 定			目 標 年 度			改 定			目 標 年 度		

3. アクションプランの構成

(1) アクションプランの構成図

アクションプランでは、「プラン」に示す3つの基本方針、基本方針を実現させるための8つの取組、これらの取組につながる8つの重点目標、重点目標を達成するために必要な9項目の個別目標を設定します。

アクションプランの構成図は、次頁のとおりです。

岐阜市生物多様性プラン

基本方針

生物多様性への理解を進めます

生物多様性の保全と再生に取り組みます

生物多様性の恵みを活用します

取組

理解を進めるための取組

- ① 周知・啓発、人づくり

保全・再生などについての取組

- ② 希少種・重要な環境の保全
- ③ 外来種対策
- ④ 生物多様性に配慮した土木・建設工事
- ⑤ 「小さな自然再生」の推進
- ⑥ 防災・減災につながる生物多様性の確保

活用などについての取組

- ⑦ 長良川流域のつながりづくり
- ⑧ 生物多様性に配慮した産業の推進

アクションプラン

重点目標

- A 市民への周知・啓発
- B 行政内への周知・啓発

- C 保全対象種、ホットスポットの選定
- D 予防に重点を置いた外来種対応指針の策定
- E 生物多様性配慮のための行政・研究者・市民の連携強化
- F 保全対象種生息地・ホットスポット地域における「小さな自然再生」の推進

- G 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動
- H 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

個別目標

- A1 生物多様性の認知度の向上
- B1 行政内部における生物多様性に対する理解の向上

- C1 保全対象種の選定
- C2 ホットスポットの選定
- D1 外来種対応指針の策定
- E1 行政・研究者・市民の協議機会の向上
- F1 「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上

- G1 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上
- H1 生物多様性に関連した産業の推奨

図2 アクションプラン 2017～2019 の構成

(2) 基本方針

目指すべき将来の岐阜市の姿を実現するため、「プラン」で実施する取組の基本方針は、次のとおりです。

■生物多様性への理解を進めます

生物多様性の保全と持続可能な利活用を推進するためには、人々の生物多様性に対する理解を広めることが非常に重要です。そのためには、シンポジウムなどの開催や参加、適切な環境保全活動や体験学習の受け入れ、参加の呼びかけなどを、市民・事業者・市が役割を持って果たすようにします。

未来を担う次世代についても、環境教育などをおして、生物多様性に理解ある人の育成を推進します。

■生物多様性の保全と再生に取り組みます

生物多様性は、生きものなどの複雑で多様なつながりで構成されるものです。このつながりが失われていくと、いずれ大きな綻びが生じかねません。そのためには、現在の生態系を保つ、または、可能な範囲で、様々な生きものと共存できる生態系に近づけるよう取り組みます。また、失われつつある生きもの同士のつながりや、生息・生育環境のつながりについても再生に取り組みます。

■生物多様性の恵みを活用します

生物多様性を未来へ伝えていくためには、守ることだけではなく、その恵みを持続的に活用することも重要です。地産地消をはじめとして、鶺鴒などの生物多様性に関わる文化などに触れることにより、生物多様性の恵みの活用を推進します。

(3) 生物多様性を保全する取組

基本方針に従い、目指すべき将来の岐阜市の姿を実現するため、「プラン」で実施する8つの取組は次のとおりです。

取組① 周知・啓発、人づくり

生物多様性について学ぶ機会を作ります。環境保全活動、環境調査などが実施されることで、生物多様性について体験できる機会を増やします。

次世代を育成する機会を提供し、生物多様性の保全に関わる人材を育てます。

取組② 希少種・重要な環境の保全

危機的な状況にある種や重要な環境の保全については、適切かつ早急な対応が取れるよう、調査と保全のための仕組みを充実します。

取組③ 外来種対策

外来種問題への理解を進め、生態系や産業、人の健康などに悪影響を及ぼす外来種への対策が随時とられるようにします。

取組④ 生物多様性に配慮した土木・建設工事

工事に際しては、地域の生態系への影響を可能な限り小さくするよう、計画・設計の段階から、開発域の配置、動物の移動経路の確保などに配慮するとともに、工事後には生きものとのふれあいの場を形成することに努めます。

取組⑤ 「小さな自然再生」の推進

地域住民をはじめとする多様な主体が協力して、身近にある自然環境の保全・復元を目指す「小さな自然再生」を推進し、生物多様性による恵みを地域づくりに生かすようにします。

取組⑥ 防災・減災につながる生物多様性の確保

自然が本来有する防災面や環境面での機能であるグリーンインフラストラクチャーを活用した防災・減災を推進することにより、生きものの生息・生育場所を確保し、生物多様性の保全につなげます。

取組⑦ 長良川流域のつながりづくり

長良川流域のつながりを再認識し、長良川流域の一員として長良川流域の環境保全や長良川に関わる文化の継承などを積極的に推進します。

取組⑧ 生物多様性に配慮した産業の推進

間接的な生物多様性保全と日常的な買い物の関係について啓発します。また、生物多様性の恵みとして継承されてきた伝統工芸品や文化の継承を支援します。

(4) 重点目標

アクションプランでは、生物多様性を保全する取組に関連して、8つの重点目標を設定しました。重点目標は次のとおりです。

A 市民への周知・啓発

生物多様性の認知度の向上を目指します。

B 行政内への周知・啓発

行政内部における生物多様性への理解を広めます。

C 保全対象種、ホットスポットの選定

「岐阜市自然環境の保全に関する条例」で指定する貴重野生動植物種以外で、保全が必要となる種を選定します。また、生物多様性が非常に豊かな地域、ホットスポットを選定します。

D 予防に重点を置いた外来種対応指針の策定

今後、侵入が予想され、かつ、大きな影響を及ぼす可能性がある外来種を選定します。また、その外来種の予防のための対応指針を策定します。

E 生物多様性配慮のための行政・研究者・市民の連携強化

工事などに対して、生物多様性に協力しあって配慮するための連携を強化します。

F 保全対象種生息地・ホットスポット地域における「小さな自然再生」の推進

主に人力作業で行う環境保全、「小さな自然再生」を保全対象種生息地やホットスポット地域で推進します。

G 長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動

長良川の上流域から下流域までの自治体、企業などで構成する長良川流域環境ネットワーク協議会が行う環境保全活動を推進します。

H 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

産業のなかには、生物多様性と深く関係するものがあることを周知・啓発します。

4. アクションプランの管理方法

(1) 管理体制

「プラン」では、アクションプランの進捗状況について、岐阜市自然環境保全推進委員会において点検・評価を行い、「ぎふし生物多様性だより」にて公表することとしています。

なお、点検・評価結果を踏まえ、3年ごとにアクションプランの見直しを行います。

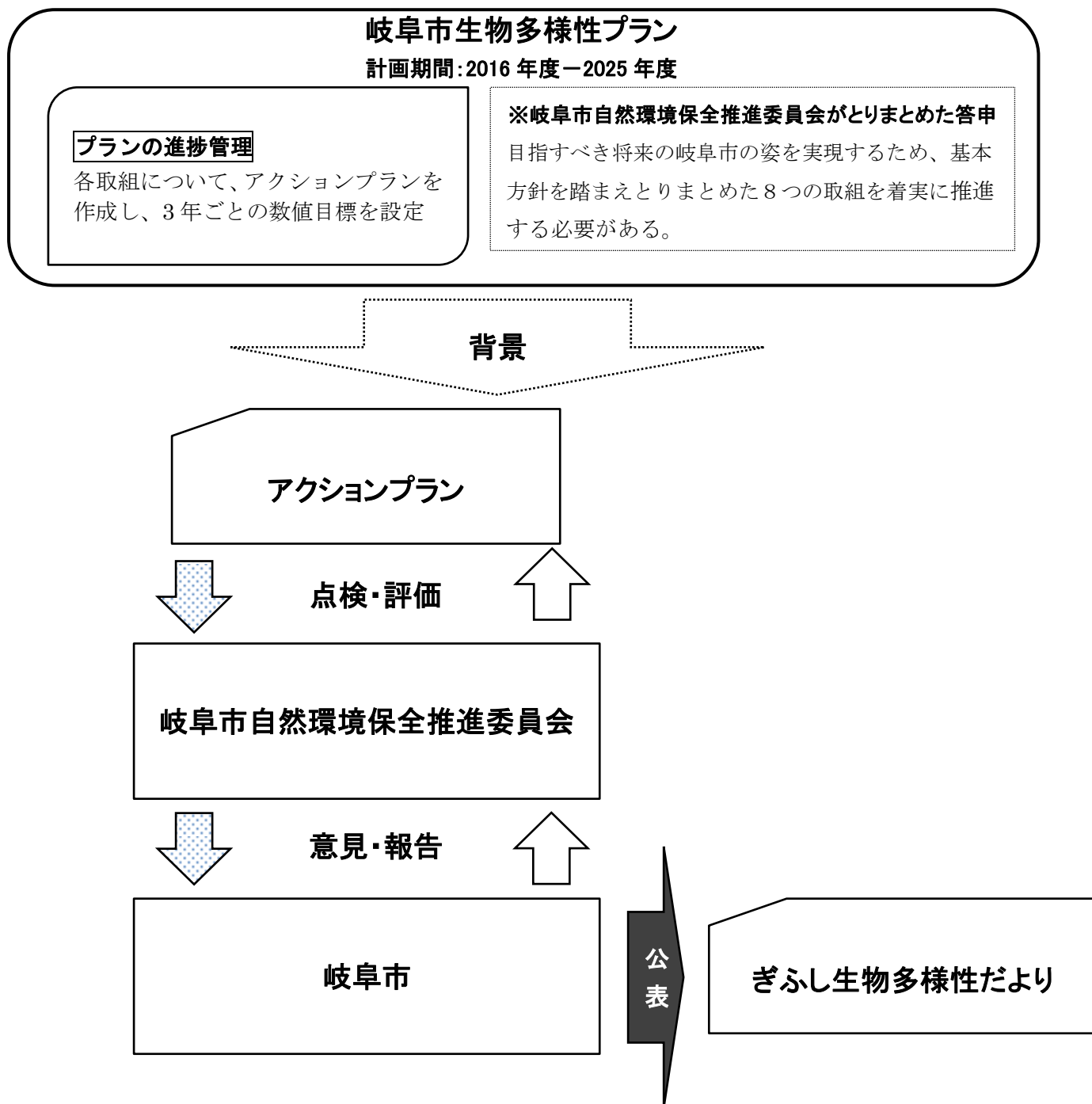


図3 アクションプラン2017-2019の管理体制

(2) 点検・評価作業の進め方

点検・評価作業にあたっては、各個別目標の進捗状況を踏まえ、重点目標ごとに点検・評価を実施します。そして各取組の進捗状況としてまとめ、アクションプラン全体の点検・評価結果とします。これらの評価結果を「プラン」全体の達成状況とあわせて、「ぎふし生物多様性だより」にて公表します。

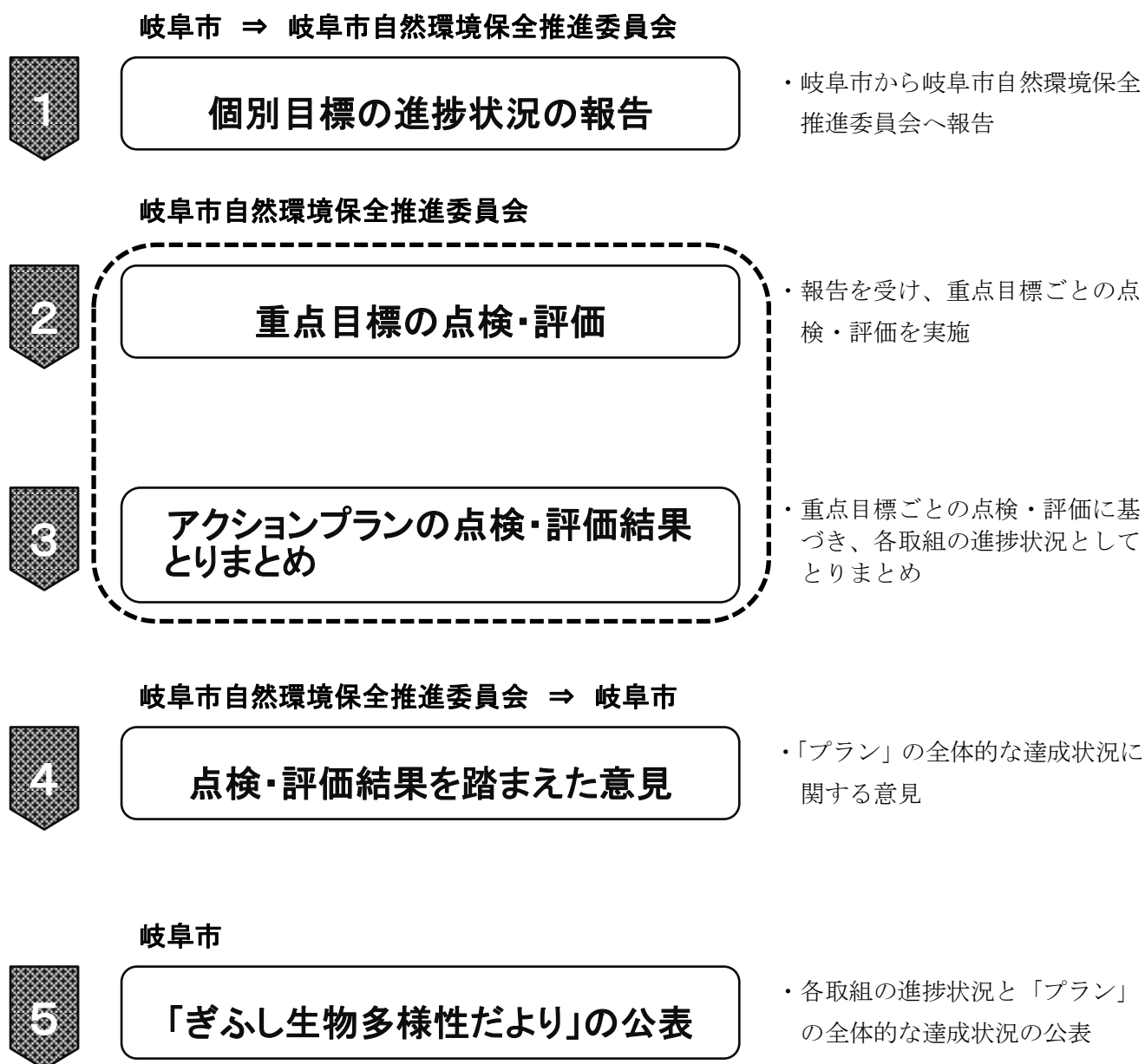


図4 点検・評価作業手順のイメージ

5. 総括表

※進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

基本方針	生物多様性への理解を進めます			ページ
取組①	周知・啓発、人づくり			
重点目標A	市民への周知・啓発			
個別目標A1	生物多様性の認知度の向上			15
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性への理解を進めます			ページ
取組①	周知・啓発、人づくり			
重点目標B	行政内への周知・啓発			
個別目標B1	行政内部における生物多様性に対する理解の向上			16
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます			ページ
取組②	希少種・重要な環境の保全			
重点目標C	保全対象種、ホットスポットの選定			
個別目標C1	保全対象種の選定			17
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます			ページ
取組②	希少種・重要な環境の保全			
重点目標C	保全対象種、ホットスポットの選定			
個別目標C2	ホットスポットの選定			18
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます			ページ
取組③	外来種対策			
重点目標D	予防に重点を置いた外来種対応指針の策定			
個別目標D1	外来種対応指針の策定			19
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます			ページ
取組④	生物多様性に配慮した土木・建設工事			
重点目標E	生物多様性配慮のための行政・研究者・市民の連携強化			
個別目標E1	行政・研究者・市民の協議機会の向上			20
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます			ページ
取組⑤	「小さな自然再生」の推進			
重点目標F	保全対象種生息地・ホットスポット地域における「小さな自然再生」の推進			
個別目標F1	「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上			21
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の恵みを活用します			ページ
取組⑦	長良川流域のつながりづくり			
重点目標G	長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動			
個別目標G1	長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上			22
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

基本方針	生物多様性の恵みを活用します			ページ
取組⑧	生物多様性に配慮した産業の推進			
重点目標H	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発			
個別目標H1	生物多様性に関連した産業の推奨			23
進捗状況	2017年度	2018年度	2019年度	
	◎			

岐阜市自然環境保全推進委員会意見

全体評価	
2017 年度	<p>○個別目標A1(認知度の向上)について</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちを自然の中に連れ出す活動を増やせるとよい・アンケート結果だけで認知度を評価するのではなく、環境教育の実施状況等を数値的に明示し、取り組みを紹介してもらいたい・市主催でない環境教育の実施状況についても把握し、今後の施策展開の資料にするとよい・環境教育推進のため、講師名簿を作成するとよい <p>○個別目標B1(行政内部における理解の向上)について</p> <ul style="list-style-type: none">・行政内部向け啓発情報「ぎふし自然だより」は、委員も確認できるよう配慮されたい・「ぎふし自然だより」は、庁内で協働した事例を取り上げるなど、他部署が生物多様性を理解できる内容とするよう工夫されたい・個別目標E1(行政・研究者・市民の協議機会の向上)でカウントした他部署との協議や情報交換の実績は、個別目標B1にも寄与するため、B1の成果としても評価に含めるとよい

6. 個別目標

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取組①	周知・啓発、人づくり
重点目標A	市民への周知・啓発
個別目標A1	生物多様性の認知度の向上

取組内容	生物多様性の認知度の向上を図ります
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性シンポジウムを平成29年8月、10月の2回開催しました。 ・水生生物調査を小学校13校と1団体に、16回実施し、延べ1,169人が参加しました。 ・生物多様性キッズセミナーを平成29年6月に開催したのをはじめ、小学校、中学校へ出前講座を実施しました。 	

3年間のロードマップ

指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2017年度)	目標値 (2018年度)	目標値 (2019年度)
生物多様性の認知度※を50%以上とします	39%	40%以上	45%以上	50%以上
		現況値 (2017年度)	現況値 (2018年度)	現況値 (2019年度)
		46%		

※ 認知度は「岐阜市まるごと環境フェア」の来場者を対象としたアンケート調査結果より

<取り組み事例>



生物多様性シンポジウムの開催

(第1回:平成29年8月20日、第2回:平成29年10月28日)

水生生物調査

(方県小学校 伊自良川)

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取組①	周知・啓発、人づくり
重点目標B	行政内への周知・啓発
個別目標B1	行政内部における生物多様性に対する理解の向上

取組内容	行政内部における生物多様性に対する理解の向上を図ります
・「ぎふし自然だより」を4回作成しました。 ・ぎふし自然だよりは、庁内イントラネットに掲載し、行政内での周知を図りました。	

3年間のロードマップ

指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2017年度)	目標値 (2018年度)	目標値 (2019年度)
ぎふし自然だよりを4回以上／年、掲載します	2回	4回以上掲載	4回以上掲載	4回以上掲載
		現況値 (2017年度)	現況値 (2018年度)	現況値 (2019年度)
		4回		

<取り組み事例>









ぎふし自然だより（第11号～第14号）

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組②	希少種・重要な環境の保全
重点目標C	保全対象種、ホットスポットの選定
個別目標C1	保全対象種の選定

取組内容	保全対象種を選定します
<ul style="list-style-type: none"> ・保全対象種専門部会を設置しました。 ・2回の専門部会を開催し、次の事を確認しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1) ホトケドジョウについて、貴重野生動植物種の指定を継続するか、保全対象種とするか検討する必要がある。 (2) 保全対象種の候補は、ウシモツゴ、トウカイヨシノボリ、ホトケドジョウ、オバエボシガイ、カタハガイ、シデコブシ、カタクリとする。 (3) 保全対象種は2019年度に選定する。 ・保全対象種の選定にあたり、候補種の生息・生育状況について調査しました。 	

3年間のロードマップ

指標	目標 (2017年度)	目標 (2018年度)	目標 (2019年度)
保全対象種を選定します	専門部会の設置		
			保全対象種選定
	現況 (2017年度)	現況 (2018年度)	現況 (2019年度)
	専門部会の設置		

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組②	希少種・重要な環境の保全
重点目標C	保全対象種、ホットスポットの選定
個別目標C2	ホットスポットの選定

取組内容	ホットスポットを選定します
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性ホットスポット専門部会を設置しました。 ・2回の専門部会を開催し、次の事を確認しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1)ホットスポットの定義は、生物の種数が多いこと、生態系の多様性が高いこと、地域住民の理解が得られることとする。 (2)ホットスポットの名称を「岐阜市ホットスポット」とし、候補地として、雛倉、山県北野、大洞、舟伏山、金華山の5つの地域を選出した。 (3)2018年度に専門部会による現地調査を実施し、2019年度にホットスポットを選定する。 	

3年間のロードマップ

指標	目標 (2017年度)	目標 (2018年度)	目標 (2019年度)
ホットスポットを選定します	専門部会の設置		
			
			ホットスポット選定
	現況 (2017年度)	現況 (2018年度)	現況 (2019年度)
	専門部会の設置		

※ホットスポット:生物多様性が非常に豊かで、かつ、希少種が多数、生息・生育しているような地域。

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組③	外来種対策
重点目標D	予防に重点を置いた外来種対応指針の策定
個別目標D1	外来種対応指針の策定

取組内容	外来種対応指針を策定します
<p>・外来種専門部会を設置しました。</p> <p>・2回の専門部会を開催し、次の事を確認しました。</p> <p>(1)外来種対策の大きな方針は、「外来種が侵入しにくい環境をつくる」、「ペットの逃亡や遺棄の防止をする」、「誤った理解による産業利用等を行わないように啓発する」、「市民にできることを提案する」とした。</p> <p>(2)外来種対応指針の対象となる外来種(侵略的外来種)の選定にあたり、分布、影響等について検討した。</p> <p>(3)優先的に対策すべき種(侵略的外来種)について、「侵入定着予防種」と「被害低減対象種」にカテゴリー分けする。</p> <p>(4)2018年度に外来種を選定し、2019年度に外来種対応指針を策定する。</p>	

3年間のロードマップ

指標	目標 (2017年度)	目標 (2018年度)	目標 (2019年度)
外来種対応指針を策定します	専門部会の設置		
		外来種の選定	
			外来種対応指針の策定
	現況 (2017年度)	現況 (2018年度)	現況 (2019年度)
	専門部会の設置		

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組④	生物多様性に配慮した土木・建設工事
重点目標E	生物多様性配慮のための行政・研究者・市民の連携強化
個別目標E1	行政・研究者・市民の協議機会の向上

取組内容	行政・研究者・市民の協議の機会を増やします
<ul style="list-style-type: none"> ・開発等に関連して、生物多様性配慮のための積極的な情報提供を実施しました。 ・行政・研究者・市民が連携する機会を積極的に設け、協議などを実施しました。 	

3年間のロードマップ

指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2017年度)	目標値 (2018年度)	目標値 (2019年度)
行政・研究者・市民の協議を10回以上／年、実施します	7回	10回以上 実施	10回以上 実施	10回以上 実施
		現況値 (2017年度)	現況値 (2018年度)	現況値 (2019年度)
		21回		

<取り組み事例>



村山川の保全のための生物調査



村山川の保全のための協議

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取組⑤	「小さな自然再生」の推進
重点目標F	保全対象種生息地・ホットスポット地域における「小さな自然再生」の推進
個別目標F1	「小さな自然再生」に係る協議・事業機会の向上

取組内容	「小さな自然再生」に係る協議・事業の機会を増やします
<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな自然再生」の推進に向けて、行政・研究者・市民の連携を実施しました。 ・「小さな自然再生」の実施について、場所、方法などについて、協議を進めました。 ・「小さな自然再生」の実施について、積極的な支援を実施しました。 	

3年間のロードマップ

指標	2017年度	2018年度	2019年度	
「小さな自然再生」に係る協議・事業を5回以上／年、実施します	調査	→		
	協議	→		
	事業	→		
	「小さな自然再生」に係るアクションを5回以上／年、実施			
	現況値 (2017年度)	現況値 (2018年度)	現況値 (2019年度)	
	20回			

※「小さな自然再生」: 地域住民をはじめとして、行政、研究者など多様な主体が協力して、身近にある自然環境の保全・復元を目指す事業。大がかりな土木工事ではなく、人力作業による小規模な土木作業によって行われます。

<取り組み事例>



学生ボランティア、市民団体による登山道整備(金華山)



手作業によるアユの産卵床造成

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取組⑦	長良川流域のつながりづくり
重点目標G	長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動
個別目標G1	長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の向上

取組内容	長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動の実施を増やします
・長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動について、積極的な参加と支援を実施しました。	

3年間のロードマップ

指標	基準値 (2015年度)	目標値 (2017年度)	目標値 (2018年度)	目標値 (2019年度)
長良川流域環境ネットワーク協議会の環境保全活動を10回以上／年、実施します	14回	10回以上 実施	10回以上 実施	10回以上 実施
		現況値 (2017年度)	現況値 (2018年度)	現況値 (2019年度)
		13回		

※長良川流域環境ネットワーク協議会：長良川の上流域から下流域までの自治体、企業などで構成し、植林や水質保全など長良川流域の保全活動をする協議会のこと。

<取り組み事例>



長良川源流の森育成事業(郡上市)



長良川流域子ども協議会(郡上市)

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取組⑧	生物多様性に配慮した産業の推進
重点目標H	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標H1	生物多様性に関連した産業の推奨

取組内容	生物多様性に関連した産業を推奨する仕組みを検討します
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性関連産業専門部会を設置しました。 ・1回の専門部会を開催し、次の事を確認しました。 <ul style="list-style-type: none"> (1)産業と生物多様性の関連について、積極的に周知・啓発する仕組みについて検討する。 (2)生物多様性に関連した産業の制度事例を調査することが必要である。 (3)平成30年度第2回生物多様性シンポジウムにおいて、生物多様性に配慮した産業を推進するための方向性を示すことを当面の目標とする。 (4)各委員で岐阜市の対象となりそうなものを集めて、おおまかな基準を設けた上で、応募という形で市民から募ることを検討する。 	

3年間のロードマップ

指標	目標 (2017年度)	目標 (2018年度)	目標 (2019年度)
生物多様性に関連した産業を推奨する仕組みを検討します	専門部会の設置		
			専門部会 意見提言
	現況 (2017年度)	現況 (2018年度)	現況 (2019年度)
	専門部会 の設置		